

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	C言語演習 I	砂賀 勝己	無	1.5単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

C言語文法で学んだ内容を、演習によってさらに理解度を深める。また、実際にプログラムを作成・実行することでプログラム開発の手順についても学習する。

## 【講義概要】

各回ともそのテーマに関する、基礎/確認となる問題を1～2問、発展的な問題を2～3問。応用問題を1～2問程度出題する。

回	授業計画及び学習の内容
1	初回は演習は無し
2	コマンドプロンプトによるコンパイル～実行までの手順、エラーの修正方法
3	scanf関数、代入式、四則剰余演算に関する演習
4	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメントに関する演習
5	基本的なif命令、ifの入れ子、elseifに関する演習
6	初期値、条件、増分などのないfor・breakに関する演習
7	総合演習1
8	一次元配列1(int)に関する演習
9	一次元配列2(char)、(char配列による)文字列の取り扱いに関する演習
10	ソートの手法、乱数に関する演習
11	二次元配列1(int)に関する演習
12	二次元配列2(char)に関する演習
13	関数1(概要、戻り値のない関数)に関する演習
14	総合演習2
15	総合演習3

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合 (補足)	80%			20%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

プリントを配布

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	実習	C言語演習Ⅱ		砂賀 勝己	無

## 【授業の到達目標及びテーマ】

C言語文法で学んだ内容を、演習によってさらに理解度を深める。また、実際にプログラムを作成・実行することでプログラム開発の手順についても学習する。

## 【講義概要】

各回ともそのテーマに関する、基礎/確認となる問題を1～2問、発展的な問題を2～3問。応用問題を1～2問程度出題する。

回	授業計画及び学習の内容
1	戻り値のある関数
2	標準関数－文字列操作と関数
3	whileによる繰り返し
4	ファイルの取り扱い
5	ポインタ1 (概要・整数型/char型のポインタ)
6	ポインタ2 (配列へのアクセス)
7	総合演習1
8	ポインタ3 (関数の引数としての受け渡しと戻り値)
9	プリプロセッサ、前置インクリメント・デクリメント
10	構造体1 (概要、変数、代入)
11	構造体2 (構造体型のポインタ、リスト構造)
12	再帰
13	動的メモリ確保
14	C++の紹介 基礎、C言語との違いなど
15	総合演習2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

プリントを配布

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	C言語文法 I		砂賀 勝己	無	2単位 30時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
C言語の文法について学習する。 コンパイラ言語の学習も初めてなので、コンパイラ言語でのプログラム開発に必要な知識についてもあわせて学習する。						
<b>【講義概要】</b>						
文法と合わせ演習科目も実施し、より理解度を深めるようにする						
回	授業計画及び学習の内容					
1	C言語プログラムの概要、コンパイラ/スクリプトなど、printf関数、変数1					
2	printf関数、変数1					
3	scanf関数、代入式、四則剰余演算					
4	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメント					
5	基本的なif命令、ifの入れ子、else if					
6	初期値・条件・増分などのないfor、break、中間試験対策					
7	中間試験					
8	中間試験解説、一次元配列1(int)					
9	一次元配列2(char)、(char配列による)文字列の取り扱い					
10	ソートの手法、乱数					
11	二次元配列1(int)					
12	二次元配列2(char)、じゃんけんプログラムのアルゴリズム					
13	関数1(概要、戻り値のない関数)					
14	関数2(戻り値のある関数)、変数(float)、include、期末試験対策					
15	期末試験					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	80%			20%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
<b>【教員紹介】</b>						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
プリントを配布						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	C言語文法Ⅱ	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

C言語の文法について学習する。  
また、各種アルゴリズム・データ構造についても合わせて学習する。

## 【講義概要】

文法の知識を活かし、実際に演習を行うことで理解を深める

回	授業計画及び学習の内容
1	戻り値のある関数
2	標準関数－文字列操作と関数
3	whileによる繰り返し
4	ファイルの取り扱い
5	ポインタ1 (概要・整数型/char型のポインタ)
6	ポインタ2 (配列へのアクセス)
7	中間試験
8	ポインタ3 (関数の引数としての受け渡しと戻り値)
9	プリプロセッサ、前置インクリメント・デクリメント
10	構造体1 (概要、変数、代入)
11	構造体2 (構造体型のポインタ、リスト構造)
12	再帰
13	動的メモリ確保
14	C++の紹介 基礎、C言語との違いなど
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

プリントを配布

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023 年		1 年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNA I	平塚 悠生	無	1.5 単位 30 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNA取得と同等の知識を習得すること。

## 【講義概要】

ネットワーク I の復習およびそれを踏まえ、OSI参照モデルの概要およびネットワークデバイスの役割や仕組みを習得する。

回	授業計画及び学習の内容
1	LANとWAN、デバイスのトポロジ
2	OSI参照モデルにおける各層の役割、データ分割とカプセル化
3	Cisco Packet Tracer を使用したルータの基本操作演習
4	ルータの役割
5	ルーティングとは
6	ここまでのまとめ
7	中間試験
8	スタティックルートの設定（送出インタフェースver）
9	IPアドレスとは
10	IPアドレスの計算
11	ルータのインターフェースにIPアドレスを設定する
12	スタティックルートの設定（ネクストホップver）
13	エンドデバイスの設定、DNS、DHCPとは
14	ここまでのまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	60%			40%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

参考文献：シスコ技術者認定教科書 CCENT/CCNA Routing and Switching ICND1編

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023 年		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	セキュリティ I	鹿子木範昭	無	2 単位 30 時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
情報セキュリティの基礎知識の習得とその活用						
<b>【講義概要】</b>						
セキュリティインシデントの予防と対応のための基礎知識・技術をテキストを中心に学ぶ。 資格試験対策として小テストを実施する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	情報通信白書による情報セキュリティインシデントの事例研究					
2	情報セキュリティの概念					
3	情報資産に対する脅威					
4	情報システムに対するセキュリティ上の脅威					
5	情報システムの脆弱性					
6	前半のまとめ					
7	中間試験					
8	暗号化システムの基礎					
9	認証技術					
10	デジタル署名					
11	ネットワークセキュリティ技術 その1					
12	ネットワークセキュリティ技術 その2					
13	情報セキュリティ関連法規					
14	後半のまとめ					
15	期末試験					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	70%	20%		10%		100%
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。</li> <li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> </ul>					
<b>【教員紹介】</b>						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
1 年次学科共通教材						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	セキュリティⅡ	久良知真紀子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティマネジメント試験の午前・午後問題分野について、要点確認と問題演習を行う。

## 【講義概要】

教科書の単元に沿って解説する。毎回、授業の最後に、その日の授業の範囲から出題した小テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報セキュリティ全般：単元01 情報セキュリティ
2	情報セキュリティ全般：単元02 マルウェア、単元03 パスワードの不正入手/不正利用、
3	情報セキュリティ全般：単元04 Webサイト利用者への攻撃、単元05 サービスの妨害/悪用、
4	情報セキュリティ全般：単元06 人的脅威、単元07 物理的脅威/その他の脅威、
5	情報セキュリティ全般：単元08 暗号化技術、単元09 認証技術
6	情報セキュリティ全般：単元10 デジタル署名
7	中間試験
8	情報セキュリティ対策：単元11 マルウェア対策、単元12 不正アクセス対策
9	情報セキュリティ対策：単元13ネットワークセキュリティ、単元14情報漏えい対策
10	情報セキュリティ対策：単元15その他のセキュリティ対策
11	情報セキュリティ管理：単元16 情報セキュリティマネジメント、単元17 ISMS
12	情報セキュリティ管理：単元18 リスクマネジメント、単元19 情報セキュリティインシデント管理
13	情報セキュリティ関連法規：単元20 情報セキュリティ関連法規
14	総合問題
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

- ① 銀行でシステム開発 (2年) ②ソフトウェア開発会社でシステム開発 (2年) ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング (20年)

## 【教科書・参考文献】

情報セキュマネ試験 要点&問題集 (インフォテックサーブ)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	CompTIA A+対策	藤野 麻朗	有	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

PC/AT互換機のハードウェア理解とWindowsを中心としてOSの理解を行う

## 【講義概要】

1001にてコンピューターハードウェアの詳細及びトラブルシューティングを学ぶ  
1002にてOSやモバイル、ヘルプデスクの人的対応について学ぶ

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーションとレッスン1 (1001) PCコンポーネントのインストールと構成 レッスン2 (1001) ディスプレイ及びマルチメディアデバイス
2	レッスン3 (1001) ストレージデバイス
3	レッスン4 (1001) 内部システムコンポーネント
4	レッスン5 (1001) ネットワークインフラストラクチャ
5	レッスン6 (1001) ネットワーク構成とトラブルシューティング レッスン7 (1001) 仮想化とクラウド
6	レッスン8 (1001) ノートPC レッスン9 (1001) モバイルデバイスのサポートとトラブルシューティング レッスン10 (1001) 印刷デバイス 復習
7	中間試験
8	レッスン1 (1002) OSのサポート レッスン2 (1002) OSのインストール、構成、メンテナンス
9	レッスン3 (1002) Windowsのメンテナンスとトラブルシューティング レッスン4 (1002) ネットワーク構成とトラブルシューティング
10	レッスン5 (1002) ユーザー、PC、共有資源管理
11	レッスン6 (1002) セキュリティの概念 レッスン7 (1002) PCとデータ保護
12	レッスン8 (1002) PCのセキュリティ問題のトラブルシューティング レッスン9 (1002) モバイルデバイスのサポートとトラブルシューティング
13	レッスン10 (1002) 運用手順の実施
14	レッスン10 (1002) 運用手順の実施 総復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	50%			50%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

5年間SEとして勤務、その後は企業向けIT系講師として勤務。ネットワーク、Windowsサーバー構築、Linuxサーバー構築、仮想化、CompTIA関連などの社員向け研修等を担当。

## 【教科書・参考文献】

CompTIAのThe Official CompTIA Contents (OCC)A+1001、A+1002

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門基礎 必修	講義	アルゴリズム I	坂井 剛	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
アルゴリズムの基本、及び代表的なアルゴリズムパターンを学習する。						
<b>【講義概要】</b>						
代表的なアルゴリズムの学習のみでなく、与えられた課題に対して学生がフローチャートを設計していく実践的な講義内容となる。同時にアルゴリズムのC言語/Javaによる実装も併せて取り扱う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	アルゴリズムとフローチャートの基礎					
2	変数					
3	比較分岐①					
4	比較分岐②					
5	繰り返し処理①					
6	繰り返し処理②					
7	中間試験					
8	1次元配列					
9	多次元配列					
10	配列探索①					
11	配列探索②					
12	データ挿入、削除					
13	並び替え①					
14	並び替え②					
15	期末試験					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
<b>【教員紹介】</b>						
大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
「ITワールド」(インフォテックサーブ)、「アルゴリズムを、はじめよう」(インプレス)						

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズムⅡ	坂本 知美	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

アルゴリズムとデータ構造の基礎理論習得を目指す。  
また、基本情報技術者試験で用いられる擬似言語の読み方を習得する。

## 【講義概要】

授業プリントを配布しながら講義を進める。  
演習問題を実際に解きながら理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	擬似言語の読み方1
2	擬似言語の読み方2
3	基数変換
4	論理演算（ビット演算）
5	加算器
6	再帰処理
7	中間試験
8	リスト構造
9	木構造、ヒープ
10	スタック、キュー、逆ポーランド
11	文字列処理1
12	文字列処理2
13	様々なソート処理
14	マージソート
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

- 独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
- ・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
  - ・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

## 【教科書・参考文献】

ITワールド

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ソフトウェア	高嶋 知由	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ソフトウェアの基礎について学習する。

## 【講義概要】

テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。  
毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報処理システムの処理形態
2	様々なシステム
3	高信頼化システムの構成
4	処理能力の評価、性能測定 of 技法
5	信頼性 of 評価
6	ヒューマンインタフェース
7	中間試験
8	マルチメディア
9	基本ソフトウェア ジョブ管理
10	基本ソフトウェア タスク管理
11	基本ソフトウェア 記憶管理
12	プログラム言語と言語プロセッサ
13	ファイル、ディレクトリ、バックアップ
14	まとめ問題演習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	70%	30%				100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

ITワールド (インフォテックサーブ)、基本情報過去問題

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門基礎 必修	講義	ハードウェア I	安藤 真理	無	2単位 30時間		
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
情報技術のハードウェア分野についての知識、理解をもとに、後期より始まる基本情報技術者試験への合格を目指す。							
<b>【講義概要】</b>							
情報技術のハードウェア分野についての知識、理解をもとに、後期より始まる基本情報技術者試験への合格を目指す。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	0R、基数（2進数、10進数、16進数）の基礎理解						
2	基数変換						
3	基数変換の応用、五大装置について						
4	中央処理装置						
5	主記憶装置と補助記憶装置						
6	論理回路、中間試験対策						
7	中間試験						
8	磁気ディスク						
9	シフト演算						
10	インターフェース						
11	システムの性能評価						
12	浮動小数点法						
13	基本情報技術者試験について、試験対策問題						
14	期末試験対策						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	80%	10%		10%		100%
	(補足)	・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
<b>【教員紹介】</b>							
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
ITワールド、基本情報技術者 過去問題集（インフォテックサーブ）							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象														
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期														
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数														
専門基礎 必修	講義	ハードウェアⅡ	安藤 真理	無	2単位 30時間														
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																			
情報技術のハードウェア分野についての知識、理解をもとに、後期より始まる基本情報技術者試験への合格を目指す。																			
<b>【講義概要】</b>																			
情報技術のハードウェア分野についての知識、理解をもとに、後期より始まる基本情報技術者試験への合格を目指す。																			
回	授業計画及び学習の内容																		
1	0R、基数（2進数、10進数、16進数）の基礎理解																		
2	基数変換																		
3	基数変換の応用、五大装置について																		
4	中央処理装置																		
5	主記憶装置と補助記憶装置																		
6	論理回路、中間試験対策																		
7	中間試験																		
8	磁気ディスク																		
9	シフト演算																		
10	インターフェース																		
11	システムの性能評価																		
12	浮動小数点法																		
13	基本情報技術者試験について、試験対策問題																		
14	期末試験対策																		
15	期末試験																		
<b>【成績評価方法】</b>																			
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td>10%</td><td></td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計													
割合	80%	10%		10%		100%													
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。																			
<b>【教員紹介】</b>																			
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																			
<b>【教科書・参考文献】</b>																			
ITワールド、基本情報技術者 過去問題集（インフォテックサーブ）																			

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	データベース	高嶋 知由	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

データベースとは、DBMSについて  
関係データベースの設計、正規化、DBの操作、SQLの習得

## 【講義概要】

テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。  
毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	データベースとは 関係データベースの特徴
2	DBMS 排他制御、障害回復処理
3	表の定義 正規化
4	SQL CREATE文
5	SQL SELECT文 * DISTINCT
6	SQL SELECT文 WHERE 条件指定
7	中間試験
8	SQL SELECT文 集合関数 GROUP BY ORDER BY
9	SQL SELECT文 表の結合
10	SQL SELECT文 副問合せ
11	SQL SELECT文 相関問合せ
12	SQL その他のSQL文 JOIN GRANT
13	SQL 総合問題演習
14	DB 基本情報午後問題
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	80%	20%				100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ネットワーク I		平塚 悠生	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験レベルのネットワーク分野の知識を習得する

## 【講義概要】

## 回 授業計画及び学習の内容

1	コンピュータネットワークとは LANとWAN
2	OSI参照モデルとTCP/IPモデル
3	通信のしくみ
4	アプリケーション層プロトコル①
5	アプリケーション層プロトコル②
6	IPアドレスとは
7	ここまでの復習
8	中間試験
9	IPアドレスの計算①
10	IPアドレスの計算②
11	重要なネットワーク技術
12	ネットワーク性能に関する計算①
13	ネットワーク性能に関する計算②
14	ここまでの復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	100%					100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

ITワールド

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ネットワークⅡ		平塚 悠生	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNA取得と同等の知識を習得する。

## 【講義概要】

OSI参照モデルにおけるL4～L1の基本動作およびそれに付随するネットワークデバイスの設定演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	ICMPとは
2	ルータのIFにIPアドレスを設定する
3	エンドデバイスの設定 DHCP、DNSとは
4	L4トランスポート層概要①
5	L4トランスポート層概要②
6	MACアドレスとは
7	ここまでのまとめ
8	中間試験
9	スイッチとハブの比較 MACアドレステーブル
10	CSMA/CD方式、ドメインとは
11	仮想端末接続概要
12	仮想端末接続演習
13	ルータ起動の流れ
14	ここまでのまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	60%			40%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	ホームページ	黒澤 純一	有	1.5単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブページを構成する主な要素であるHTML/CSSの基本的な記述方法と役割について理解し、演習を通じて、制作技術の習得を目指す。

## 【講義概要】

ウェブページを構成する主な要素であるHTML/CSSの基本的な記述方法と役割について理解し、演習を通じて、制作技術の習得を目指す。

回	授業計画及び学習の内容
1	基礎① HTML/CSS概要説明、基本的な要素の記述体験
2	基礎② 制作に必要なフォルダ構成、マークアップルールの解説と記述演習
3	基礎③ HTMLの基本的な書式と名称の解説、演習（テキスト表示に関するタグなど）
4	基礎④ CSSの基本的な書式と名称の解説、演習（要素に対する見た目の装飾、配置変更など）
5	基礎⑤ HTMLでのリンクと画像の挿入、CSSでの装飾・配置
6	基礎⑥ レイアウトについて、ボックスモデルとフレックスボックスの解説と演習1
7	基礎⑦ レイアウトについて、ボックスモデルとフレックスボックスの解説と演習2
8	基礎⑧ レイアウトについて、レスポンシブデザイン・メディアクエリの解説と演習
9	基礎⑨ CSSでのアニメーション、UI/UXと絡めた解説と演習
10	実践 ウェブページ制作課題① 課題の概要説明
11	実践 ウェブページ制作課題②
12	実践 ウェブページ制作課題③
13	実践 ウェブページ制作課題④
14	実践 ウェブページ制作課題⑤
15	実践 ウェブページ制作課題⑥

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	80%			20%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

## 【教科書・参考文献】

プロを目指す人のHTML&CSSの教科書

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	表計算基礎 I	藤田 恵子	無	1.5 単位 30 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Excelの基本的な操作とビジネスで必須の資料作成や集計、計算分析に使う関数、グラフなど自力で作成できる力を身に付けることを目標とし、Excel機能の特徴を理解し将来さまざまな仕事で活用できることを学習する。

## 【講義概要】

Excel内容ごとの課題を作成し印刷物で提出する。採点后返却し再度間違いやできない所をやり直ししながらできない所を克服する。基本操作、セルの書式設定、関数計算集計、関数使い方、グラフ、表作成編集、データベース等。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excel基本操作、シートの入力基本と書式設定、保存と印刷方法、設定、メニュー
2	Excel基本操作2、シート入力基本と書式設定2、四則計算と関数SUM合計AVERAGE平均MAX最大他
3	セルの書式設定、文字数値入力基本、表作成、セル結合、罫線編集、四則計算と基本の関数、%小数点
4	セルの書式設定、罫線表作成、行列幅設定変更、四則計算と基本関数と構成比率%絶対参照F4で\$絶対番地
5	円グラフ、折れ線グラフ、縦棒グラフ、横棒グラフ基本的なグラフ作成と編集方法、基本関数練習
6	端数処理(切捨rounddown切上roundup四捨五入round)絶対参照F4、small、large、Rank順位
7	ここまでの総合まとめ練習課題
8	条件判定IFの基本と応用1 (and、or、not) ネスト(入れ子)、条件式テーブルなど
9	条件判定IFの練習と応用、データベース機能絞り込み抽出、複数条件の並べ替え、
10	グラフ作成と編集、折れ線と縦棒の複合グラフ作成、グラフの書式設定など。特殊な変更方法
11	表検索VLOOKUPの基本と応用、行検索Hlookupの活用と応用、データベース機能
12	Time時刻の計算、date日付の計算、賃金計算、成績管理、住所録、データベース、表検索応用
13	複数ページの印刷、印刷範囲、設定変更、複数シートの集計機能、複数ブックの集計
14	ここまでの総合まとめ練習課題1
15	ここまでの総合まとめ練習課題2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	70%		20%	10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

実況出版60Hexcelイキパ°-ト/無限大出版Excel演習問題/MOS検定試験問題集/  
日本情報処理検定問題集3~1級

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	表計算基礎Ⅱ	藤田 恵子	無	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Excelの基本的な操作を理解し、ビジネスに必要な集計機能や分析に関する機能やグラフ作成、仕事で使える便利な機能の習得や印刷やデータの保護管理までを身に着けることを目標とする

## 【講義概要】

各回に配布したプリントの課題をしながら機能や集計方法などを学習し、いままでの復習を繰り返し練習しながら、毎回新しい機能や関数を学び練習します。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excelの基本機能、データ入力、文字入力、日付や時刻などの表示形式、ユーザ定義の活用（曜日や単位表示
2	行の高さ、列幅、行列非表示、表作成の罫線の編集、セル結合や左インデント字下げ、縦書き、ルビ表示
3	四則計算、合計・平均・最大・最小・セルの数など基本的な集計練習、データ並べ替え、通貨表示と%表示
4	端数処理と%表示形式、小数点以下の表示、単位や通貨記号表示、コメント使いかた、リンク方法・削除
5	IF判定の基本、IFのネスト・入れ子、and・or・notを活用したIF判定の活用、RANK順位つけ降順・昇順
6	データ規則よりリスト作成、データ入力時の制限方法、エラー表示、請求書作成してみる、複数ページ数管理
7	印刷範囲の設定、ヘッダーフッター（ページ番号、シート名、日付時刻表示など）、印刷拡大縮小、余白設定
8	表検索VLOOKUPを活用して売上集計まとめる。データベース機能使う。HLOOKUPも活用
9	複数シートの串刺し演算による集計方法、シート間のリンクの設定、シートの保護、ブックの保護
10	ピボットテーブル機能によるクロス集計、自動集計方法の活用、グループ化の設定
11	データベース機能DSUM、DAVERAGE、DCOUNT、COUNTIF、SUMIFなどの活用による集計方法
12	複雑なグラフ作成、縦棒と折れ線の複合グラフ、円グラフ、積み上げ横棒などの編集について
13	総合まとめ1
14	総合まとめ2
15	総合まとめ3

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

無限大EXCEL(基礎編・応用編)/美教出版60時間遠州/日情検定の表計算問題集2級1級初段から)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	文書編集基礎	佐藤 薫	無	1.5単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Wordを使用して文書編集の機能を理解し、定型のビジネス文書、表や図入りの案内書、長文を効率よく作成できるようになることが目標。入力速度向上も目指す(最低400字以上/10分)

## 【講義概要】

機能の操作説明を理解して実習課題を2問ほど作成する。不明点は積極的に聞いて文書作成の基礎を身に付けよう。授業中に提出できなかった必須課題は後から必ず提出すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	Wordの画面構成、入力の基礎、タイピング練習、文書の保存
2	日本語入力システムの活用、ページ設定と文書の印刷プレビュー
3	一般的なビジネス文書の作成(1)、ビジネス文書のルール
4	一般的なビジネス文書の作成(2)、インデントとタブで文字位置を揃える
5	一般的なビジネス文書の作成(3)、文字、段落の書式設定
6	シンプルなレポートや報告書の作成(1)
7	シンプルなレポートや報告書の作成(2)
8	ヘッダーとフッターの設定、総合問題①
9	表を使った文書の作成
10	表の編集、Excelデータの取り込み
11	画像や図形を使った文書の作成
12	ワードアート、図解(SmartArt)で情報を伝える文書の作成
13	効率の良い長文作成の機能
14	まとめ
15	まとめ

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合 (補足)	90%			10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

情報利活用文書作成word2019対応

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門基礎 必修	講義	ITパスポート対策		小泉 真理子	有

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験合格を目標とする。

## 【講義概要】

ITパスポート試験の資格対策を行う。用語と過去問を理解し、資格取得を目指す。合格者は前期は基本情報技術者試験午前の学習を行う。後期からは授業・定期試験を免除する。

## 回 授業計画及び学習の内容

1	ITパスポート試験の概要
2	ストラテジ系
3	ストラテジ系
4	ストラテジ系
5	ストラテジ系
6	ストラテジ系
7	ストラテジ系
8	中間試験
9	マネジメント系
10	マネジメント系
11	マネジメント系
12	マネジメント系
13	マネジメント系
14	マネジメント系
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	50%		40%	10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。

## 【教科書・参考文献】

ITパスポート試験過去問題

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門基礎 必修	講義	基本情報対策 I		砂賀 勝己	無

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報科目A免除試験の合格を目指す

## 【講義概要】

午前問題対策、特に計算問題を中心に学習する。12月の免除試験終了後は科目B(午後)対策の内容を勉強する。

## 回 授業計画及び学習の内容

1	進数、データの表現形式などの計算
2	CPU関係の計算、用語
3	稼働率、信頼性関係の計算
4	多重プログラミングとスケジューリング
5	論理代数
6	音声サンプリング、画素数、逆ポーランド
7	中間試験
8	アローダイヤグラム、ページング関係
9	売上、損益分岐点等、中間試験対策
10	午前免除試験直前練習
11	科目B対策：アルゴリズム 1
12	科目B対策：アルゴリズム 2
13	科目B対策：アルゴリズム 3
14	科目B対策：アルゴリズム 4
15	科目B対策：アルゴリズム 5

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

インフォテックサーブ版「科目B対策」

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	基本情報対策Ⅱ	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報午前免除試験の合格を目指す

## 【講義概要】

過去問題を繰り返し学習する。12月または1月の修了試験に合格したら受講免除。

回	授業計画及び学習の内容
1	過去問練習
2	過去問練習
3	過去問練習
4	過去問練習
5	過去問練習
6	過去問練習
7	中間試験
8	過去問練習
9	過去問練習
10	午前免除試験直前練習
11	科目B対策：アルゴリズム1
12	科目B対策：アルゴリズム2
13	科目B対策：アルゴリズム3
14	科目B対策：アルゴリズム4
15	科目B対策：アルゴリズム5

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力Ⅰ	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける  
 ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

## 【講義概要】

- ①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

## 回 授業計画及び学習の内容

1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習
7	中間試験
8	図形問題（角度）
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	80%	10%		10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力Ⅱ	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける  
 ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

## 【講義概要】

- ①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	日本語の基礎知識No. 1、数学の基礎計算P. 128～133、文章問題(仕事算)
2	日本語の基礎知識No. 2、数学の基礎計算P. 134～139、文章問題(割合算)
3	日本語の基礎知識No. 3、数学の基礎計算P. 140～145、文章問題(定価算)
4	日本語の基礎知識No. 4、数学の基礎計算P. 146～151、文章問題(速度算)
5	日本語の基礎知識No. 5、数学の基礎計算P. 152～157、文章問題(流水算)
6	日本語の基礎知識番外編、数学の基礎計算P. 158～165、文章問題(通過算)
7	中間考査
8	日本語の基礎知識No. 6、数学の基礎計算P. 166～171、式の展開
9	日本語の基礎知識No. 7、数学の基礎計算P. 172～177、因数分解(1)
10	日本語の基礎知識No. 8、数学の基礎計算P. 178～183、因数分解(2)
11	日本語の基礎知識No. 9、数学の基礎計算P. 184～189、平方根
12	日本語の基礎知識No. 10、数学の基礎計算P. 190～195、二次方程式
13	日本語の基礎知識No. 11、数学の基礎計算P. 196～201、n進法
14	日本語の基礎知識No. 12、数学の基礎計算P. 202～209、集合
15	期末考査

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合 (補足)	80%	10%		10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー I	山際 能理子	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
接遇を学び、正しいビジネスマナーを習得し、良好な人間関係の構築を図る						
<b>【講義概要】</b>						
クラス全員の参加型形式で、「知る・わかる・できる」のステップで、身につけていきます。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	【オリエンテーション】 クラスのルール クラスメンバーと知りあう					
2	【サービススタッフの資質①】 仕事は全てサービス業 心構えと基本行動					
3	【サービススタッフの資質②】 好印象・好感度の形成					
4	【サービスの専門知識】 サービスの機能や種類					
5	【従業知識】 商業用語・経済用語 会社の構成					
6	【一般知識①】 ことわざ・慣用表現 慶事の知識					
7	【一般知識②】 物の名称・数え方 カタカナ用語 弔事の知識					
8	【対人技能①】 コミュニケーション					
9	【対人技能②】 接遇の基本 接遇用語 敬語					
10	【対人技能③】 基本のマナー お辞儀・立ち居振る舞い・案内・席次・和室・食事					
11	【実務技能①】 問題の捉え方 問題への対応					
12	【実務技能②】 環境の整備 金品管理					
13	【実務技能③】 社交業務					
14	サービス接遇検定 模擬テストに挑戦					
15	全体のまとめ					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	50%			50%	参考：授業姿勢を重要視	100%
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> </ul>					
<b>【教員紹介】</b>						
情報処理科、電子技術科、臨床工学科において、ビジネスマナーを担当。学校での講義だけでなく、企業での研修や講演も行っている。サービス接遇検定本の著者。						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
ユーキャンのサービス接遇検定合格テキスト&問題集						

東京電子専門学校 セキュリティ・ネットワーク科

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネス検定対策	今村 朋子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ビジネス能力検定3級合格を目指す。  
ビジネスの基本的な在り方を学び、実務力とコミュニケーション力をつける。

## 【講義概要】

ビジネスの基礎知識を学び、検定日までは毎回演習問題を実施し理解を深めます。  
ビジネス能力検定終了後は、さらなる自己啓発に取り組み、就職活動の準備へ繋げて行きます。

回	授業計画及び学習の内容
1	キャリアと仕事へのアプローチ 働く意識 演習問題
2	仕事の基本となる8つの意識 演習問題
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本 演習問題
4	指示の受け方と報告・連絡・相談 演習問題
5	話し方と聞き方のポイント 敬語の種類と必要性 演習問題
6	来客応対と訪問の基本マナー 面談と名刺交換 演習問題
7	中間試験
8	会社関係でのつき合い 冠婚葬祭の基本 演習問題
9	仕事への取り組み方 定型業務と否定形業務 演習問題
10	ビジネス文書の基本 社内文書・社外文書・社交文書 演習問題
11	電話応対 電話の受け方・かけ方 取りつぎの仕方 演習問題
12	統計・データの読み方・まとめ方 表とグラフ 演習問題
13	情報収集とメディアの活用 インターネット・新聞 演習問題
14	会社を取り巻く環境と経済の基本 求められる人材とは 演習問題
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

## 【教科書・参考文献】

各クラス共通 「ビジネス能力検定3級」テキスト及び問題集

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	経営	古郡 聡	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
IT社会を支えている情報システムを中心とした戦略について、経営戦略と企業について学ぶ。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。						
<b>【講義概要】</b>						
毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す						
回	授業計画及び学習の内容					
1	企業活動の目的					
2	企業会計					
3	オペレーションズリサーチ(1)					
4	オペレーションズリサーチ(2)					
5	経営工学・品質管理					
6	法務と標準化					
7	中間試験					
8	経営戦略マネジメント(1)					
9	経営戦略マネジメント(2)					
10	技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ					
11	e-ビジネス					
12	情報システム戦略					
13	情報システム企画					
14	開発技術					
15	期末試験					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	70%	10%		20%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
<b>【教員紹介】</b>						
教育機関にて学内のシステム開発業務に従事						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023 年		1 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教養 必修	実習	体育実習 I	セキュリティ・ネットワーク科 担当教員	無	3 単位 60 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。  
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4 時間程度歩き、心身のバランスを図ります。  
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。  
 心身の健全な育成を目指しています。

## 【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1 日目、2 日目）
6	
7	
8	学園祭（1 日目）
9	
10	
11	学園祭（2 日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

（補足） ・成績は 100 点を最高とし、60 点以上を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が 1/3 を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2023 年		2 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Webプログラミング		砂賀 勝己	無	3 単位 60 時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
CGIとDBを用いたウェブサイトの構築手法について学習する						
<b>【講義概要】</b>						
言語としてphp、DBサーバとしてmysqlを使う。演習をメインとして理解力を深める						
<b>回</b>	<b>授業計画及び学習の内容</b>					
1	php概要、phpの基本文法・他言語との違い(変数、制御文など)、CGIとは					
2	postによるデータの取得とページの生成、文字列を扱う関数					
3	ファイル、ラジオボタン(Form要素)					
4	連想配列、foreach、die、チェックボックス(Form)					
5	正規表現－概要、記述法、関連関数－、配列操作1－追加/削除のメソッドなど－					
6	配列操作2－ソート、コピー－、ファイルへのデータの追加、正規表現応用					
7	総合演習1					
8	関数(ユーザ定義)、日付関数					
9	ヒアドキュメント、table関係の要素、phpによる作表					
10	cookie操作					
11	phpとmysqlの連携1－mysql概要、接続/アクセスのための基本メソッド－					
12	セッション管理、phpとmysqlの連携2－各種SQL文1－					
13	phpとmysqlの連携3－各種SQL文2－、include					
14	クラスの利用、getメソッド					
15	総合演習3					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	80%			20%		100%
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> </ul>						
<b>【教員紹介】</b>						
<b>【教科書・参考文献】</b>						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	JavaScript	菊池 靖	無	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

JavaScriptを用いた動的なWebページの作成を学習する。自分で考えた簡単なWebアプリケーションを作成できることを目標とする。

## 【講義概要】

HTMLとCSSの復習から始め、JavaScriptの基本文法、応用プログラムを学ぶ。実際にサンプルを打ち込み、また提示されて課題に従ってプログラムを作りながら学んでいく。

回	授業計画及び学習の内容
1	この授業について・JavaScriptについて・HTMLとCSSの復習
2	開発環境・JavaScriptプログラムの書き方・HTML要素の書き換え
3	JavaScriptの基本(1):変数と演算・比較と条件式
4	JavaScriptの基本(2):繰り返し・関数(ファンクション)・配列
5	JavaScriptの基本(3):配列・オブジェクト
6	ここまでの復習・中間試験準備
7	中間試験
8	中間試験解説・フォーム・組み込みオブジェクト
9	一步進んだテクニック(1):タイマー・プルダウンメニュー
10	一步進んだテクニック(2):Cookie・画像
11	Jquery
12	WebAPI
13	Canvas(教科書外の内容)
14	総合演習1、期末試験対策
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合 (補足)	60%			40%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

確かな力が身につく JavaScript「超」入門 第2版, 狩野 祐東 著, ソフトバンククリエイティブ

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	実習	CCNAⅡ		平塚 悠生	無

## 【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNA取得と同等の知識を習得する。

## 【講義概要】

OSI参照モデルにおけるL4～L1の基本動作およびそれに付随するネットワークデバイスの設定演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	ICMPとは
2	ルータのIFにIPアドレスを設定する
3	エンドデバイスの設定 DHCP、DNSとは
4	L4トランスポート層概要①
5	L4トランスポート層概要②
6	MACアドレスとは
7	ここまでのまとめ
8	中間試験
9	スイッチとハブの比較 MACアドレステーブル
10	CSMA/CD方式、ドメインとは
11	仮想端末接続概要
12	仮想端末接続演習
13	ルータ起動の流れ
14	ここまでのまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	60%			40%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	CCNAⅢ	平塚 悠生	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNA取得と同等の知識を習得する。

## 【講義概要】

OSI参照モデルにおけるL4～L1の基本動作およびそれに付随するネットワークデバイスの設定演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	ICMPとは
2	ルータのIFにIPアドレスを設定する
3	エンドデバイスの設定 DHCP、DNSとは
4	L4トランスポート層概要①
5	L4トランスポート層概要②
6	MACアドレスとは
7	ここまでのまとめ
8	中間試験
9	スイッチとハブの比較 MACアドレステーブル
10	CSMA/CD方式、ドメインとは
11	仮想端末接続概要
12	仮想端末接続演習
13	ルータ起動の流れ
14	ここまでのまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	60%			40%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

は未入力箇所

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNAIV	平塚 悠生	無	1.5単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNA取得と同等の知識を習得する。

## 【講義概要】

CCNAⅢまでの学習を踏まえ、主にルータ関連のプロトコルについて仕組みと設定の習得を目的とした演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	WCM
2	ダイナミックルート② OSPFの設定演習
3	ダイナミックルート② OSPFの概要
4	ダイナミックルート② OSPFの追加事項
5	ACL概要
6	ACL設定演習
7	ここまでの復習
8	中間試験
9	NAT概要
10	PAT設定演習
11	ダイナミックルート③ EIGRPの概要
12	ダイナミックルート③ EIGRPの設定演習
13	ダイナミックルート③ EIGRPの追加事項
14	ここまでのまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	50%			50%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNAIV	平塚 悠生	無	1.5単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNA取得と同等の知識を習得する。

## 【講義概要】

CCNAⅢまでの学習を踏まえ、主にルータ関連のプロトコルについて仕組みと設定の習得を目的とした演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	WCM
2	ダイナミックルート② OSPFの設定演習
3	ダイナミックルート② OSPFの概要
4	ダイナミックルート② OSPFの追加事項
5	ACL概要
6	ACL設定演習
7	ここまでの復習
8	中間試験
9	NAT概要
10	PAT設定演習
11	ダイナミックルート③ EIGRPの概要
12	ダイナミックルート③ EIGRPの設定演習
13	ダイナミックルート③ EIGRPの追加事項
14	ここまでのまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	50%			50%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Linux I	坂巻 吉則	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Linuxを利用したサーバー構築に必要な知識および操作技術を、仮想化環境を利用した実機演習を通して習得することを目標とする。

## 【講義概要】

各回ともそのテーマに関する、演習課題（実機コマンド操作）を1～3問程度出題する。

## 回 授業計画及び学習の内容

1	Linuxの環境構成、Linuxの特徴
2	ファイル操作の基礎
3	ファイル操作の基礎
4	テキスト処理
5	ユーザーとグループの管理、所有者管理とアクセス権の設定
6	パッケージ管理、システムアーキテクチャー
7	中間課題
8	デバイスとファイルシステム
9	シェルの機能とシェルスクリプト
10	ネットワーク管理
11	システム管理
12	セキュリティ
13	最終課題
14	総合演習1
15	総合演習2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計
割合 (補足)	40%			20%	40%	100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

IT教育専門会社の代表としてIT教育関連事業に従事する。  
現在は主に提携する大手メーカー系Sierのサーバー・ネットワーク系講師としての登壇および、カリキュラム開発を担当。

## 【教科書・参考文献】

Linuxベーシック（オリジナルテキスト）

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	LinuxⅡ	鈴木 俊	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

WebサーバーやDNSサーバーをはじめとする各種Linuxサーバーの構築技術の習得、また、サーバー公開時におけるセキュリティ知識の習得を目標とする。

## 【講義概要】

各回のテーマに関する演習（実機コマンド操作）を実施する。演習の中に課題箇所を設け、作業証跡（ログや画面キャプチャ）を課題として提出とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Linuxの環境構成、ネットワークの設定
2	WEBサーバーの構築（Apacheの導入）
3	WEBサーバーの構築（ApacheのBasic認証、Digest認証の導入）
4	PHPの利用
5	PHPとMariaDBの連携
6	FTPサーバーの構築（VSFTPd）
7	中間試験
8	DNSサーバーの構築（DNS概要、BIND）①
9	DNSサーバーの構築（DNS概要、BIND）②
10	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecot）①
11	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecot）②
12	アカウントのセキュリティ（PAM）
13	SSHの公開鍵-秘密鍵を利用した認証
14	Firewalldの設定
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	40%			60%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

金融、通信キャリアの新規構築案件に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事  
携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	L P I C対策I	平塚 悠生	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
Linux Essentialsを取得する						
<b>【講義概要】</b>						
CentOSの基本的な操作を習得していることを前提として、Linux Essentials試験対策に特化した知識の整理を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	パス、ユーザ、コマンドの基本書式					
2	シェル変数と環境変数					
3	ファイルとディレクトリの操作					
4	テキストファイルの操作					
5	アーカイブの作成展開、圧縮と解凍					
6	ここまでの復習					
7	中間試験					
8	テキストエディタvi、スクリプトの基本					
9	各種ディレクトリの役割					
10	ユーザとグループの作成削除編集					
11	ファイルとディレクトリのパーミッション編集					
12	特殊なパーミッション					
13	Linuxのディストリビューションとライセンス					
14	ここまでの復習					
15	期末試験					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	100%					100%
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
<b>【教員紹介】</b>						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
教科書：JMAM Linux Essentials合格テキスト&問題集						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	サーバ構築	砂賀 勝己	無	3単位 60時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
社会ではとても多くのWindowsマシンが使われており、それをセキュアな状態に保つ、管理を行うためのスキルはとても重要である。本講座ではそのための基礎知識となるWindowsクライアント/サーバのセキュリティ設定に関する手法を取得することを目的とする。						
<b>【講義概要】</b>						
Windowサーバ/クライアント環境におけるセキュアなシステム構築の手法について学習する						
回	授業計画及び学習の内容					
1	Windowsドメイン、ワークグループ、Active Directory					
2	ユーザとグループ概要、ローカルとドメインでの違いなど					
3	ドメインでのグループと組織単位の管理					
4	NTFSアクセス権					
5	共有アクセス権					
6	共有フォルダの管理					
7	グループポリシー1					
8	グループポリシー2					
9	グループポリシー3					
10	EFS(暗号化ファイルシステム)、リモートでの管理					
11	イベントログ、監査1					
12	監査2					
13	監査3					
14	実技試験1					
15	実技試験2					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	80%			20%		100%
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
<b>【教員紹介】</b>						
<b>【教科書・参考文献】</b>						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023 年		2 年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	セキュリティⅢ	鈴木 朋夫	無	4 単位 60 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティを技術的・物理的・人的な側面からとらえ、各側面に存在する脅威、脆弱性、セキュリティ管理策の概要を理解し、情報セキュリティの要素、用語の基礎的な説明、状況に応じた基礎的なセキュリティ対策を立てることが出来るようになり、かつ実践的な対応策の説明が出来るようになる。

## 【講義概要】

- ・CompTIA Security+の受験対策も兼ねる
- ・各回とも適宜実演習を行い、知識を深める。また毎回レポートを課す
- ・実習環境としてLinux/Windowsの各種バージョン、Kali Linuxなどを仮想環境にて利用する

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション 情報セキュリティの概要、暗号化技術①(暗号の概要、対称鍵、非対称鍵、ハッシュ暗号) 演習：暗号技術の基礎(1)
2	暗号技術②(デジタル署名、管理と応用) 演習：暗号技術の基礎(2)
3	ネットワーク技術①(モデルと用語、IP、IPSec) ネットワーク技術②(IPv6、TCP、UDP、DHCP、DNS) ネットワークの基本的なプロトコルの識別と認証 演習：ファイル転送のセキュリティ
4	セキュリティ基礎(識別と認証)、ネットワーク技術③(SSH、Telnet) 演習：認証の基礎とSSH
5	ネットワーク技術④(SMTP、POP3、IMAP) 攻撃①(攻撃者の種類と行動、基本的な攻撃手法、DNSへの攻撃)、DNSのセキュリティと関連する演習
6	中間試験
7	情報セキュリティ対策①(セキュリティポリシー、リスク管理、脆弱性の検査) 情報セキュリティ対策②(識別と認証)、関連する演習
8	情報セキュリティ対策③(PKIとデジタル証明書、リソースへのアクセス制御、ホストのセキュリティ) 演習：ファイルシステムのセキュリティ、証明書サービス
9	情報セキュリティ対策④(仮想化技術、無線LAN、ネットワークのアクセス制御)、関連する演習
10	RAID技術
11	情報セキュリティ対策⑤(モバイル機器とテレワーキング、セキュアエリア、装置のセキュリティ)
12	情報セキュリティ対策⑥(環境のセキュリティ、変更管理とバックアップ、動作状況監視とログ) 演習：データのバックアップと復元
13	情報セキュリティ対策⑦(アプリケーションログ、侵入検知とファイル改ざんの検査) 演習：ファイアウォール、ログ
14	情報セキュリティ対策⑧(冗長構成と災害復旧、インシデント管理とフォレンジックス、事業継続性の管理)
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席)	合計
割合	40%			20%	40%	100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

CompTIA Security+テキスト(ウチダ人材開発センタ)、オリジナルテキスト

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門	必修	セキュリティ解析		平塚 悠生	無	1.5 単位 30 時間
	実習			坂本 知美	有	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

簡単なCTF (Capture The Flag) 競技の問題が解けるレベルの基礎知識を身につけることを目的とする。なお、バイナリ解析ではx86\_64環境をベースにして説明する。

## 【講義概要】

1～2回目の授業では、Linuxに関する説明や基本的なコマンド操作を学ぶ。その後、Linuxコマンド及びWindows上のツールを用いて演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	Linuxの基本操作1
2	Linuxの基本操作2
3	CTFの説明 fileコマンド、stringsコマンド
4	Forensics1 バイナリ
5	Forensics2 zip解凍、Exif情報
6	Crypto1 base64、シーザー暗号、ハッシュ (MD5, SHA-1)、RSA暗号
7	Crypto2 ハッシュ (MD5, SHA-1)、RSA暗号
8	Reversing1 アセンブラ言語の読み方① 代入、加算、減算、関数呼び出し
9	Reversing2 アセンブラ言語の読み方② 分岐、繰り返し
10	Reversing3 バイトオーダー、スタック領域の考え方
11	Reversing4 gdbの使い方
12	Pwnable1 パイプによる入力、バッファオーバーフロー
13	Pwnable2 任意の関数を呼び出す、Format String Attack
14	総合演習
15	総合演習

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	85%			15%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

坂本：独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。  
 ・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。  
 ・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

## 【教科書・参考文献】

入門セキュリティコンテスト、はじめて学ぶバイナリ解析

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年	月曜1限	2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	セキュリティ実務演習	鈴木 朋夫	無	1.5単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティを技術的・物理的・人的な側面からとらえ、各側面に存在する脅威、脆弱性、セキュリティ管理策の概要を理解し、情報セキュリティの要素、用語の基礎的な説明、状況に応じた基礎的なセキュリティ対策を立てることが出来るようになり、かつ実践的な対応策の説明が出来るようになる。

## 【講義概要】

- ・CompTIA Security+の受験対策も兼ねる
- ・各回とも適宜実演習を行い、知識を深める。また毎回レポートを課す
- ・実習環境としてLinux/Windowsの各種バージョン、Kali Linuxなどを仮想環境にて利用する

## 回 授業計画及び学習の内容

1	オリエンテーション 情報セキュリティの概要、暗号化技術①(暗号の概要、対称鍵、非対称鍵、ハッシュ暗号) 演習：暗号技術の基礎(1)
2	暗号技術②(デジタル署名、管理と応用) 演習：暗号技術の基礎(2)
3	ネットワーク技術①(モデルと用語、IP、IPSec) ネットワーク技術②(IPv6、TCP、UDP、DHCP、DNS) ネットワークの基本的なプロトコルの識別と認証 演習：ファイル転送のセキュリティ
4	セキュリティ基礎(識別と認証)、ネットワーク技術③(SSH、Telnet) 演習：認証の基礎とSSH
5	ネットワーク技術④(SMTP、POP3、IMAP) 攻撃①(攻撃者の種類と行動、基本的な攻撃手法、DNSへの攻撃)、DNSのセキュリティと関連する演習
6	中間試験
7	情報セキュリティ対策①(セキュリティポリシー、リスク管理、脆弱性の検査) 情報セキュリティ対策②(識別と認証)、関連する演習
8	情報セキュリティ対策③(PKIとデジタル証明書、リソースへのアクセス制御、ホストのセキュリティ) 演習：ファイルシステムのセキュリティ、証明書サービス
9	情報セキュリティ対策④(仮想化技術、無線LAN、ネットワークのアクセス制御)、関連する演習
10	RAID技術
11	情報セキュリティ対策⑤(モバイル機器とテレワーキング、セキュアエリア、装置のセキュリティ)
12	情報セキュリティ対策⑥(環境のセキュリティ、変更管理とバックアップ、動作状況監視とログ) 演習：データのバックアップと復元
13	情報セキュリティ対策⑦(アプリケーションログ、侵入検知とファイル改ざんの検査) 演習：ファイアウォール、ログ
14	情報セキュリティ対策⑧(冗長構成と災害復旧、インシデント管理とフォレンジックス、事業継続性の管理)
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席)	合計
割合	40%			20%	40%	100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

CompTIA Security+テキスト(ウチダ人材開発センタ)、オリジナルテキスト

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2023 年		2 年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	ログ解析手法		産学連携	有	1.5 単位 30 時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
<p>ログ収集分析ツールであるsplunkを使い、ログの解析手法について学習する。 本講座は三井物産セキュアディレクション(株)(MBSD)との産学連携授業である。</p>						
<b>【講義概要】</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ splunkの基本的な操作方法、用語などを学習する。また、これを用いたログ分析手法について学習する。コンテンツとしてMBSD作成のものを適宜参照する。</li> <li>・ wiresharkによるパケットキャプチャとその分析手法について学習する。</li> </ul>						
回	授業計画及び学習の内容					
1						
2						
3						
4						
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境構築(Linux版を使用)</li> </ul>					
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ログとは</li> </ul>					
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ splunkとは 概要、操作方法、サーチ各種</li> </ul>					
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BOTS V1演習</li> </ul>					
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ M B S D様による特別講義</li> </ul>					
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学期初頭：ログとは、splunkについて、各種コマンド</li> <li>・ 学期中盤：セキュリティエンジニアの仕事内容、splunk演習</li> <li>・ 学期最後：BOTS V1発表</li> </ul>					
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ wiresharkとは 概要、操作方法、パケット解析</li> </ul>					
12						
13						
14						
15						
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	100%					100%
<b>【教員紹介】</b>						
三井物産セキュアディレクション(株)のエンジニア数名が3回講師として特別授業を行う						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
splunk公式資料、MBSD作成オリジナル資料						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	データベース演習－SQL	坂井 剛	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

各授業で課されるSQL演習課題を一定数提出する必要がある。  
また本講義はOracle Master Bronze 取得対策も兼ねた内容となっている。

## 【講義概要】

各授業で課されるSQL演習課題を一定数提出する必要がある。  
また本講義はOracle Master Bronze 取得対策も兼ねた内容となっている。

回	授業計画及び学習の内容
1	SQLの基本書式とSELECT文
2	重複排除、別名
3	並べ替え
4	条件指定①
5	条件指定②
6	単一行関数
7	中間試験
8	グループ分けとグループ関数
9	集合演算子
10	副問い合わせ
11	表の結合
12	表の作成
13	制約、デフォルト値
14	トランザクション制御
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	80%			20%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

【教員紹介】  
大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。

## 【教科書・参考文献】

スッキリわかるSQL入門 第2版 ドリル222問付き！ (インプレス社)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2023 年		2 年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Oracle-DBA		坂井 剛	有	3 単位 60 時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
Oracle管理者として必要なデータベース構成の基本知識、及び初歩的な管理技術の修得を目的とする。 Oracle Master Bronze DBA (2019/12c) 試験の受験を視野に入れた内容となる。						
<b>【講義概要】</b>						
仮想環境を使い実際にデータベースの構築と管理作業を体験する。 OSのインストール、DBMS構築、運用、障害対策、トラブルシューティングまで演習を通し経験を積む。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	Oracleデータベースのインストールおよびデータベース作成					
2	データベースの起動と停止、データベース管理ユーザの基礎理解					
3	OracleNet及びネットワーク構成と設定					
4	Oracleインスタンスの理解とパラメータ設定					
5	データベース記憶域と構成ファイル群					
6	SQLを使用したデータベース構築と詳細設定					
7	中間試験					
8	ユーザアカウントと権限					
9	スキーマオブジェクト (ビュー・索引・順序・別名・関数・トリガー)					
10	データのバックアップとリストア、データのインポート・エクスポート					
11	フラッシュバック機能					
12	データベースの監視とアドバイザの利用					
13	障害とトラブルシューティング					
14	総復習、及び最終演習					
15	期末試験					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> </ul>					
<b>【教員紹介】</b>						
大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。 ※Oracleに関してはOracle10g/11g/12cのSilver所持。						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
ORACLE MASTER Bronze [12c DBA] 完全詳解+精選問題集』 (SBクリエイティブ)						

東京電子専門学校 セキュリティ・ネットワーク科

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	講義	基本情報対策Ⅲ	産学連携	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験への合格を目指す。特に本授業では、基本情報技術者試験の科目B試験が解けるような力を養成する。

## 【講義概要】

基本情報技術者試験の合格を目指し、過去問題を中心に演習を行う。基本的な知識は既に身につけているであろうとの前提のもと、より思考力が問われる科目B問題を中心に演習を進める。また、学習が不十分だと考えられる分野については、適宜、講義形式で説明を実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	疑似言語の基礎
2	配列 1
3	配列 2
4	探索処理 1
5	探索処理 2
6	総合演習 1
7	整列処理 1
8	整列処理 2
9	データ構造 1
10	データ構造 2
11	オブジェクト指向
12	セキュリティ 1
13	セキュリティ 2
14	セキュリティ 3
15	科目B 模擬試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	20%			80%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

新人研修や社会人教育を行っている教育ベンダから講師を派遣してもらい授業を開講

## 【教科書・参考文献】

基本情報技術者試験科目B対策問題集、オリジナルテキスト(インフォテックサーブ)

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	講義	応用情報対策	井元 和彦	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

情報処理技術の応用的知識・技能を獲得し、応用情報処理技術者試験の合格を目指す。

## 【講義概要】

応用情報処理技術者試験の過去問演習を通じて、合格に必要なスキルを身に着ける。

回	授業計画及び学習の内容
1	午前対策 ネットワーク
2	午後対策 ネットワーク
3	午前対策 データベース
4	午後対策 データベース
5	午前対策 情報セキュリティ
6	午後対策 情報セキュリティ
7	中間試験
8	午前対策 基礎理論・コンピュータシステム
9	午前対策 アルゴリズムとプログラミング
10	午後対策 プログラミング
11	午前対策 プロジェクトマネジメント
12	午前対策 サービスマネジメント、システム監査
13	午後対策 サービスマネジメント
14	午後対策 システム監査
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%	20%				100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム (インフォテックサーブ)

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2023 年		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語 I	茂木康有 Tope Salami	有	2 単位 30 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

1. 英語の苦手意識をなくし、とにかく英語が好きになる。
2. 英語が母語の同僚や顧客にも英語で対応できるようPythonプログラミングを英語で学ぶ。

## 【講義概要】

90分授業を前半と後半に分け、前半は日本人講師による英語の訳し方、伝え方、パイソン用語などを日本語で解説。後半は、英語母語の講師により実際にパソコンを使ったPythonプログラミング実習を英語で行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標
2	Words and sentences
3	Terminology
4	Writing a program
5	What could possibly go wrong?
6	Variables
7	Variable names and key words
8	Statements
9	Operators and operands
10	Expressions
11	Order of operations
12	Modulus operator
13	String operations
14	Asking the user for input
15	Comments

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%				難問により平均点が低ければ出席率を加点考慮対象とする	100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

茂木康有 (Steve Mogi) : アメリカ、ドイツ、オーストラリア企業に約20年勤務ののち2010年ICT教育研修研究所を設立。現在は各種英語科目を専門学校等へ提供。また、コミュニケーション関連研修を各種企業へ提供。

Tope Salami : IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計9年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。

## 【教科書・参考文献】

Trinket - Python Book

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ	茂木康有 Tope Salami	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- 英語の苦手意識をなくし、とにかく英語が好きになる。
- 英語が母語の同僚や顧客にも英語で対応できるようPythonプログラミングを英語で学ぶ。

## 【講義概要】

90分授業を前半と後半に分け、前半は日本人講師による英語の訳し方、伝え方、パイソン用語などを日本語で解説。後半は、英語母語の講師により実際にパソコンを使ったPythonプログラミング実習を英語で行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	Review
2	Modulus Operator
3	String Operations
4	Asking the User for Input
5	Comments
6	Choosing mnemonic variable names
7	Python Exercises
8	Review
9	Boolean Expressions
10	Logical Operators
11	Conditional Execution
12	Alternative Execution
13	Chained Conditionals
14	Nested Conditionals
15	Review

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%				難問により平均点が低ければ出席率を加点考慮対象とする	100%

- (補足)
- 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

茂木康有 (Steve Mogi) : アメリカ、ドイツ、オーストラリア企業に約20年勤務ののち2010年ICT教育研修研究所を設立。現在は各種英語科目を専門学校等へ提供。また、コミュニケーション関連研修を各種企業へ提供。

Tope Salami : IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計9年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。

## 【教科書・参考文献】

Trinket - Python Book

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅰ	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

## 【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容			
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7
8	中間試験			
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13
15	期末試験			

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	80%	10%		10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

## 【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容			
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7
8	中間試験			
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13
15	期末試験			

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	80%	10%		10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023 年		2 年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	プレゼンテーション	山際 能理子	有	1.5 単位 30 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動は、自分をプレゼンテーションする作業です。この授業は、プレゼンテーションの技術を身につけて自分を効果的に伝える方法を習得します。限られた時間の中で、効果的にアピールするためには伝わる法則があります。自分本位から相手本位に伝えるためには何が必要かを細かく学びます。カリキュラムは、理論を学び、実践し、検証し、再度挑戦するPDCAサイクルです。プレゼンテーションを実践し、採点評価しながら自己改善を目指します。ひとりよがりのプレゼンテーションから、相手を動かすプレゼンテーションにレベルアップして、今後の就職活動に活かせるようにする。

## 【講義概要】

個人発表2回、チーム発表1回 合計3回のプレゼンテーションを実践します。毎回採点評価しながら自己改善を目指します。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション 授業概要のプレゼンテーション（目的、目標、ルール、プレゼンテーションとは何か） 伝えることの意味、伝わるための3つの伝達力
2	①構成力をつける 内容の組み立て方を知る
3	②発表力 感じよく伝えるための発表力をつける、話法を知る ③表現力 スライドの構図による印象度の違いを知る
4	第1回 個人発表 3回の授業で理論を学び第1回の個人発表に入ります。
5	テーマ「国民食はどっち？」 スライド5枚以上 発表時間は3分
6	チーム作業 課題「自分の科をアピールする」KJ法～骨子を決定
7	チーム作業 役割分担、スケジュール作成
8	チーム作業 最終調整
9	第2回 チーム発表 発表後の自己改善点をふまえて次に活かします。仕事はチーム作業です。就職後を見据え、チームでのプレゼンテーションに挑戦します。テーマに基づき、チームで情報の整理・収束、作業の役割分担を決め取り掛かります。納期を設定し、作業スケジュールを立て、協力する過程を実践します。 スライドは10枚以上 発表時間はチームで10分
10	PDCA 問題点を洗い出し、解決策を考え 最終課題に取り組む
11	自分のSWOTシート作成
12	最終発表
13	最終発表は、プレゼンテーションの集大成です。自己改善点の改題解決に向けて挑戦します。 3回目の自己発表、テーマ「自分」 スライド10枚以上 発表時間は5分
14	まとめと総合演習
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

情報処理科、電子技術科、臨床工学科において、ビジネスマナーを担当。学校での講義だけでなく、企業での研修や講演も行っている。サービス接遇検定本の著者。

## 【教科書・参考文献】

パワーポイントのスライド、配布プリント

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅰ	石井眞木子	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

グループディスカッション、グループワークを通して自分自身を理解し他者とのコミュニケーションを学ぶ。就職活動の流れ、採用試験までの対応を体系立てて学習する。

## 【講義概要】

企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。

回	授業計画及び学習の内容
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッション（価値観のワーク）
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明
3	働くことの意味、社会人との違いの理解
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「ボランティア」
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「GUAKOボム」
6	お金の話（給与＋残業代）
7	中間試験
8	ソフトウェア業界の理解、業界の構成、SEの業務内容
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジヨハリの窓」
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代にがんばったこと
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	75%		15%	10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについて理解し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。

## 【講義概要】

- ・グループワークを通して自己理解を深め他者とのコミュニケーションを学ぶ。
- ・面説練習、様々なロールプレイングによって、会社訪問時などのビジネスマナーを体験しスムーズに活動するための基礎力を養う。
- ・企業と連携し、セミナー等を適宜実施する。
- ・スーツ着用で登校する回有り

## 回 授業計画及び学習の内容

1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習
2	履歴書、自己PR、学生時代に頑張ったこと、志望動機の重要性の理解
3	自己PRを記述し、自己PRを深める。「PREP法」を理解する
4	学生時代に頑張ったこと、自己PRの理解を深める
5	キャリアコンサルタントによる特別授業(スーツ着用)
6	採用試験(筆記/グループディスカッション/面接など)の説明と理解
7	中間試験
8	志望動機を記述し、理解を深める
9	IT業界とは
10	企業求人理解-その1 企業の求人票を確認する
11	企業求人理解-その2 キーワード
12	企業求人理解-その3 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する
13	就職セミナー、会社訪問時の流れ、注意点について理解する
14	まとめ
15	期末試験

適宜業界セミナーなどを開催

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	60%		20%	20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2022年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネスマナーⅡ	今村 朋子	有	2単位 30時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**  
 就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。  
 併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しも行う。

**【講義概要】**  
 授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T. P. Oに合わせた言葉遣い
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」
7	中間試験
8	電話の対応① 電話対応の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応
9	電話の対応② 電話対応の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成
10	訪問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう
15	期末試験

**【成期末試験**

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

**【教員紹介】**  
 都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

**【教科書・参考文献】**  
 各クラス共通 「社会でいきる 実践ビジネスマナー」

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
一般教育 必修	講義	ビジネス数学		氏原 真代	無
2単位 30時間					

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な数学の考え方、公式を理解する。特に割合の考え方を身につける。把握力・分析力・選択力・予測力・表現力のレベルを上げ、ビジネス数学検定に合格する。

## 【講義概要】

ビジネス数学検定で出題されるような計算問題を考える力を養う。毎回いろいろな分野の問題を扱うことで、問題に慣れ、自分なりの考え方ができるようにする。

回	授業計画及び学習の内容
1	割合と百分率（1） 原価，定価，利益，値引き，売価，純利益
2	割合と百分率（2） 金利の計算，単利，複利
3	予測力（1） データからの予測，仕事算，作業時間，累積時間
4	予測力（2） 不等式，売上高の比較
5	選択力（1） 評価の重みづけ，期待値
6	百分率と割合・予測力・選択力のまとめ 演習問題
7	中間試験
8	グラフ（1） グラフの種類
9	グラフ（2） グラフを読む，グラフを書く
10	集合 ベン図，集合の法則，顧客調査
11	データの分布（1） 散布図，相関係数
12	データの分布（2） ヒストグラム，バブルチャート
13	選択力（2） 顧客管理
14	グラフ・集合・データ分布・選択力のまとめ 演習問題
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	100%					100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

授業時にプリント配布，ビジネス数学検定3級

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023 年		2 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ	セキュリティ・ネットワーク科 担当教員	無	3 単位 60 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。  
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4 時間程度歩き、心身のバランスを図ります。  
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。  
 心身の健全な育成を目指しています。

## 【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1 日目、2 日目）
6	
7	
8	学園祭（1 日目）
9	
10	
11	学園祭（2 日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

（補足）  
 ・成績は 100 点を最高とし、60 点以上を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が 1/3 を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	実習	CCNAVI		平塚 悠生	無

## 【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNA取得と同等の知識を習得する。

## 【講義概要】

VLAN、STP、ポートセキュリティ、IPv6などの具体的な技術および仮想化、負荷分散を実現する考え方を扱う。

回	授業計画及び学習の内容
1	VLAN概要①
2	VLAN概要②
3	VLAN間通信の設定演習
4	STPの概要①
5	STPの概要②
6	ポートセキュリティ概要と設定
7	ここまでのまとめ
8	中間試験
9	IPv6概要と設定
10	無線LAN概要
11	リンクアグリゲーション概要
12	ネットワークのトラブルシューティング演習
13	CCNA問題演習
14	ここまでのまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	70%			30%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	CCNAVⅦ	平塚 悠生	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNA取得と同等の知識を習得する。

## 【講義概要】

VLAN、STP、ポートセキュリティ、IPv6などの具体的な技術および仮想化、負荷分散を実現する考え方を扱う。

回	授業計画及び学習の内容
1	VLAN概要①
2	VLAN概要②
3	VLAN間通信の設定演習
4	STPの概要①
5	STPの概要②
6	ポートセキュリティ概要と設定
7	ここまでのまとめ
8	中間試験
9	IPv6概要と設定
10	無線LAN概要
11	リンクアグリゲーション概要
12	ネットワークのトラブルシューティング演習
13	CCNA問題演習
14	ここまでのまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	70%			30%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	サイバーセキュリティオペレーションズ		坂井 剛	有	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Ciscoが提供する CCNA Cybersecurity Operations コースを開催・受講。  
サイバーセキュリティの基礎の学習、及び資格 CCNA Cyber Ops の取得を目指す。

## 【講義概要】

単位修得には中間・期末試験、指定課題、SBA、Final Examのすべてにおいて合格点を取得する必要がある。  
高度な内容であるため、授業外における予習と復習が必須となる。

回	授業計画及び学習の内容
1	第1章 サイバーセキュリティとセキュリティオペレーションセンター
2	第2章 Windowsオペレーティングシステム
3	第3章 Linuxオペレーティングシステム
4	第4章 ネットワークプロトコルとサービス
5	第5章 ネットワークインフラストラクチャ
6	第6章 ネットワークセキュリティの原則
7	中間試験
8	第7章 ネットワーク攻撃：詳細
9	第8章 ネットワークの保護
10	第9章 暗号化と公開キー インフラストラクチャ
11	第10章 エンドポイントのセキュリティと分析
12	第11章 セキュリティ監視
13	第12章 侵入データの分析
14	第13章 インシデントの対応と処理
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

【教員紹介】  
大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。  
現在教員としては13年目となる。

## 【教科書・参考文献】

Cisco Networking Academy のオンライン資料

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	AWS 資格対策	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

クラウドに関する基本的な用語、動作などを理解する。  
AWS認定カリキュラム AWS Cloud Foundations(ACF)の内容を学習する。

## 【講義概要】

- ・クラウドの基本的な用語、動作などを学習する。
- ・AWS Cloud Practitioner , Solutions Architect資格対策の内容を取り入れる。
- ・Cloud Practitioner以上の取得で受講/定期試験免除

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	○クラウドの基礎-基本用語など
5	○パブリッククラウド、AWS資格について
6	○受験するための準備/勉強法
7	○テーマ
8	1.1 クラウドのコンセプトの概要
9	1.2 クラウドエコノミクス
10	1.3 AWSインフラストラクチャーの概要
11	2.1 AWSの主要なサービス-コンピューティング
12	2.2 AWSの主要なサービス-ストレージ
13	2.3 AWSの主要なサービス-データベース
14	2.4 AWSの主要なサービス-その他
15	3.1 AWSクラウドのセキュリティ
	4.1 クラウドアーキテクチャの設計
	5.1 クラウドの請求とサポートサービス

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)				100%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

AWS認定教材(Webベース)、AWS認定 クラウドプラクティショナー(SBクリエイティブ)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2023 年		3 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	LPIC対策I		平塚 悠生	無	2 単位 30 時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
LPIC101を取得する。						
<b>【講義概要】</b>						
CentOSの基本的な操作を習得していることを前提として、LPIC101試験対策に特化した知識の整理を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	テキスト3章					
2	テキスト3章					
3	テキスト3章					
4	テキスト4章					
5	テキスト4章					
6	テキスト4章					
7	中間試験					
8	テキスト5章					
9	テキスト5章					
10	テキスト1章					
11	テキスト1章					
12	テキスト1章					
13	テキスト2章					
14	テキスト2章					
15	期末試験					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	100%					100%
・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
<b>【教員紹介】</b>						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
教科書：翔泳社 LPICレベル1 Version5.0対応						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023 年		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	LPIC対策Ⅱ		平塚 悠生	無	2 単位 30 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

LPIC101を取得する。

## 【講義概要】

CentOSの基本的な操作を習得していることを前提として、LPIC101試験対策に特化した知識の整理を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	テキスト3章
2	テキスト3章
3	テキスト3章
4	テキスト4章
5	テキスト4章
6	テキスト4章
7	中間試験
8	テキスト5章
9	テキスト5章
10	テキスト1章
11	テキスト1章
12	テキスト1章
13	テキスト2章
14	テキスト2章
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	100%					100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

教科書：翔泳社 LPICレベル1 Version5.0対応

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	インフラ設計演習		坂巻 吉則	有	3単位 60時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
小規模ネットワークの設計構築に必要な知識の習得および、各種設計書の理解と作成する技能を身に着ける。また、設計書に基づいたネットワーク環境を構築し、トラブルシューティングを行う事ができる。						
<b>【講義概要】</b>						
各回ともそのテーマに関する、演習課題（実機コマンド操作）を1～3問程度出題する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	ネットワークの物理構成					
2	ネットワークの論理構成					
3	ネットワークのセキュリティ					
4	ネットワークの冗長化構成					
5	ネットワークの運用管理					
6	システムの設計と構築					
7	システムの設計と構築					
8	システムの設計と構築					
9	障害対応と報告書の作成					
10	総合演習課題					
11	総合演習課題					
12	総合演習課題					
13	総合演習課題					
14	総合演習課題					
15	総合演習課題					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計
割合	40%			20%	40%	100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
<b>【教員紹介】</b>						
IT教育専門会社の代表としてIT教育関連事業に従事する。 現在は主に提携する大手メーカー系Sierのサーバー・ネットワーク系講師としての登壇および、カリキュラム開発を担当。 大手ITスクールにてインフラ系インストラクターのリーダーとして教育業務経験、独立系Sierにてサーバー・ネットワークシステムの設計構築、および関連するカリキュラム開発業務の経験あり。						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
ネットワークシステム設計構築実践（オリジナルテキスト）						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Docker/コンテナ	高橋 義博	有	1.5単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
Dockerがそもそもどんな仕組みで動いているのか、コマンドでは何を命令しているのか、オプションや引数は何を意味しているのかをきちんと理解し、Dockerの基礎を学んでいく。						
<b>【講義概要】</b>						
Dockerをひとつおりに動かして、止めて、廃棄するまでの流れを身に付けた上で、複数のコンテナ同士で通信をしたり、データをコンテナの外部に保存したりといった、現場で必要となるスキルを学んでいく。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	クラウドについて					
2	Dockerとは、Dockerのインストール、Dockerの操作					
3	小テスト、小テストの解説					
4	コンテナ作成→削除、コンテナと通信					
5	イメージの削除、WordPressを利用して複数のコンテナを動かそう					
6	WordPressコンテナの構成してみよう、WordPressを使ってみよう					
7	コンテナとホスト間でファイルのコピー					
8	ボリューム（フォルダ）のマウント					
9	コンテナのイメージ化					
10	コンテナの改造					
11	Docker Hubへの登録					
12	小テスト					
13	Docker Composeについて					
14	総合課題制作					
15	総合課題制作					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	40%	40%		20%		100%
・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
<b>【教員紹介】</b>						
15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
仕組みと使い方がわかる Docker & Kubernetesのきほんのきほん						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	講義	セキュリティ監査		久良知 健	無

## 【授業の到達目標及びテーマ】

企業における内部監査を理解し、情報セキュリティ監査制度の知見を得て、情報セキュリティ監査の基礎知識を習得することを目標とする。

## 【講義概要】

教科書をベースに情報セキュリティ内部監査を説明し、Web情報をベースに情報セキュリティ監査制度を追加で説明する。

回	授業計画及び学習の内容
1	内部監査とは
2	情報セキュリティ内部監査の位置づけと内部監査人の必要性
3	あらためて情報セキュリティの基礎を学ぶ
4	リスクマネジメント
5	情報セキュリティ監査制度
6	情報セキュリティ監査制度：監査基準
7	中間試験
8	情報セキュリティ監査制度：管理基準
9	情報セキュリティ内部監査組織の整備、監査の効率的な進め方
10	監査手続き
11	監査リスクと品質管理
12	情報セキュリティ監査の実施手順：実施計画、監査実施、意見形成
13	情報セキュリティ監査の実施手順：監査報告、フォローアップ、品質管理
14	技術的検証、技術的検証と監査との関係、全体のまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	50%			50%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

情報セキュリティ内部監査の教科書 改訂三版(インプレスR&D)  
<http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/is-kansa/>

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023 年	月曜 1限	3 年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	市場調査／要件定義 I	砂賀 勝己	無	1.5 単位 30 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

現実には起こりうる「要件定義を元に、その要件に合うシステムの設計、機器構成、提案を行う」ための手法について学習する。  
よりよい提案資料の作成方法についても考察を行う。

## 【講義概要】

原則としてグループ（2～3名）で作業をする。  
評価は出席、レポート、各回の発表、公開資料、他者の講評にて行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2～3週間に1回の割合で「要件」を指示。それについて必要な機器構成の検討、設計等を行い、提案資料を作成する。</li> <li>・ 各テーマの最後の回に発表を行う。</li> <li>・ 評価は「この構成、製品を購入したい」という意見の一番多かったグループを100点、2番を80点、3番を70点、残りを60点の評価とし、これを合算して行う。</li> <li>・ テーマの例               <ul style="list-style-type: none"> <li>①現在は自由にインターネットを利用できるようにしているが、最近業務に関係のないページばかり見ている社員がいる。会社全体でインターネットの閲覧を制限したい。</li> <li>②情報漏洩が心配なので社員が使うPCでハードディスクやUSBメモリなどの記憶媒体を使わせないようにしたい。</li> <li>③現在はネットワーク機器の故障時に新しい機器を購入 →その機器を壊れた機器と同じ構成に設定→機械を入れ替え という手順を踏んでいるが、もっと手間のかからない方法はないか？</li> </ul> </li> </ul>
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 (講義概要/授業計画欄を参照)	合計
割合 (補足)					100%	100%

- ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023 年		3 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	市場調査／要件定義Ⅱ		砂賀 勝己	無	1.5 単位 30 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

現実には起こりうる「要件定義を元に、その要件に合うシステム的设计、機器構成、提案を行う」ための手法について学習する。  
前期Ⅰ以上に提案力、よい資料作成が出来ることに重点を置く。

## 【講義概要】

原則としてグループ（2～3名）で作業をする。  
評価は出席、レポート、各回の発表、公開資料、他者の講評にて行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>2～3週間に1回の割合で「要件」を指示。それについて必要な機器構成の検討、設計等を行い、提案資料を作成する。</li> <li>各テーマの最後の回に発表を行う。</li> <li>評価は「この構成、製品を購入したい」という意見の一番多かったグループを100点、2番を80点、3番を70点、残りを60点の評価とし、これを合算して行う。</li> <li>テーマの例               <ul style="list-style-type: none"> <li>①オンプレ環境をクラウド環境に移行したい</li> <li>②標的型メールをはじめとするメールやウェブ経由でのマルウェア感染が心配。どういった予防法があるか知りたい。</li> </ul> </li> <li>など</li> </ul>
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 (講義概要/授業計画欄を参照)	合計
割合 (補足)					100%	100%

- 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	セキュリティコンテスト対策	砂賀 勝己	無	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ・今まで学んできた技術がどのくらい通用するものなのかを試す。
- ・三井物産セキュアディレクションが実施しているセキュリティコンテストへの参加を目指す

## 【講義概要】

原則としてグループ（2～3名）で作業をする。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	コンテストの内容に従う。
8	評価は 本戦出場、参加（レポート送付）、レポート作成 など
9	作業内容の完成度によって行う。
10	
11	
12	
13	
14	
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（授業計画欄を参照）	合計
割合 (補足)					100%	100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

プリント配布

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	データマイニング/AI基礎	吉田 雅裕	有	1.5単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

情報社会が抱える諸問題を多角的に分析・解明した上で、その問題の解決策を論理的に構築するために有用なデータマイニングの基礎技術の習得を目指す。実社会のビッグデータを対象に、データクレンジングの方法やAIの適用方法を学習し、データマイニングによって得られる結果を正しく理解するための論理的思考力を身に着ける。

例として、身近な医療や保健のデータ、電子メールのデータ、スーパーマーケットの商品販売履歴などのデータを学習に利用する。日ごろ直感的に感じていることと、データマイニングでわかることを比較し、データマイニングに関するより深い理解を得る。RとPythonを使って、実際にデータマイニングを行うための具体的な方法論を習得することを目標とする。また、RやPythonを使って実際のビッグデータを分析できるようになる。データの内容に応じて、どのような人工知能を作成すればよいかを考えられるようになることを目標とする。

## 【講義概要】

膨大な非構造化データ、いわゆるビッグデータから、何らかの知見を導き出すデータマイニングについて学修する。連関規則、決定木、クラスタ分析、回帰分析、自己組織化マップ、ニューラルネットなどについて学び、ツールを用いることによっていわゆるAI（弱いAI）を活用することができる水準の技術を獲得する。機械学習についても、教師あり学習、教師なし学習、強化学習の特徴を把握し、自らが行う問題解決に際して、適切な方法を選択できる力量を養う。

本講義では、データマイニングのためのソフトウェア『R』やプログラミング言語『Python』を用いる。演習を中心とした授業内容により、データマイニングの基礎技術を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	分析環境のセットアップと基本操作
3	データ事前処理
4	教師あり学習①（線形回帰）
5	教師あり学習②（ロジスティック回帰）
6	教師あり学習③（SVM）
7	教師あり学習④（決定木）
8	教師あり学習⑤（ナイーブベイズ）
9	教師あり学習⑥（ニューラルネットワーク）
10	教師なし学習①（K平均法）
11	教師なし学習②（主成分分析）
12	教師なし学習③（自己組織化マップ）
13	教師なし学習④（連関規則）
14	データマイニング演習・前半
15	データマイニング演習・後半

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			80%	20%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

企業研究所において、5G通信と自動運転車の研究開発に従事。現在は中央大学国際情報学部准教授。

## 【教科書・参考文献】

授業でテキストを使用せずに、レジュメ等の配布資料で代替する。

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業制作 I	砂賀 勝己	無	3単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ・2年間学んだ技術や知識を生かし、各自で企画した内容で制作、研究を行う。
- ・各自のスキルアップを目指す。
- ・後期卒業制作の下地作りとして役立つようにする・・・スケジュール感やテーマなど。

## 【講義概要】

- ・原則としてグループで作業する。
- ・テーマはITに即したものの、またはITを活用するものであれば何でも良い。
- ・良い作品作りはもちろん大事だが、スケジュール管理やグループ作業に必要なことなど後期卒業制作のための経験作りをきちんと行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	テーマ決定、スケジュール作成、企画書作成
2	企画内容/スケジュールレビュー、制作
3	制作
4	制作
5	制作
6	制作
7	中間発表
8	レビュー
9	制作
10	制作
11	制作
12	制作
13	最終発表
14	提出資料まとめ
15	振り返り

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（発表）	合計
割合	70%			20%	10%	100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業制作Ⅱ		砂賀 勝己	無	3単位 60時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学んだ技術や知識を生かし、各自で企画した内容で制作、研究を行う。</li> <li>各自のスキルアップを目指す。</li> <li>前期卒業制作の経験を踏まえ、計画的に、かつ良い制作/研究となるよう心がける。</li> </ul>						
<b>【講義概要】</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>原則としてグループで作業する。</li> <li>テーマは前期テーマを継続しても良いし、前期同様ITに即したものの、またはITを活用するものであれば何でも良い。</li> </ul>						
回	授業計画及び学習の内容					
1	テーマ決定、スケジュール作成、企画書作成					
2	企画内容/スケジュールレビュー、制作					
3	制作					
4	制作					
5	制作					
6	制作					
7	中間発表					
8	レビュー					
9	制作					
10	制作					
11	制作					
12	制作					
13	最終発表					
14	最終発表					
15	提出資料まとめ					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	100%					100%
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。</li> <li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> </ul>					
<b>【教員紹介】</b>						
<b>【教科書・参考文献】</b>						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業制作Ⅲ		砂賀 勝己	無	3単位 60時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学んだ技術や知識を生かし、各自で企画した内容で制作、研究を行う。</li> <li>各自のスキルアップを目指す。</li> <li>前期卒業制作の経験を踏まえ、計画的に、かつ良い制作/研究となるよう心がける。</li> </ul>						
<b>【講義概要】</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>原則としてグループで作業する。</li> <li>テーマは前期テーマを継続しても良いし、前期同様ITに即したものの、またはITを活用するものであれば何でも良い。</li> </ul>						
回	授業計画及び学習の内容					
1	テーマ決定、スケジュール作成、企画書作成					
2	企画内容/スケジュールレビュー、制作					
3	制作					
4	制作					
5	制作					
6	制作					
7	中間発表					
8	レビュー					
9	制作					
10	制作					
11	制作					
12	制作					
13	最終発表					
14	最終発表					
15	提出資料まとめ					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	100%					100%
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。</li> <li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> </ul>					
<b>【教員紹介】</b>						
<b>【教科書・参考文献】</b>						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門基礎 必修	講義	高度国試対策 I	小泉 真理子	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
情報処理安全確保支援士の合格に必要な知識を身につける。						
<b>【講義概要】</b>						
情報処理安全確保支援士試験の資格対策を行う。応用情報技術者試験のセキュリティ分野の問題と、情報処理安全確保支援士の試験の問題を解く。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	過去問演習					
2	過去問演習					
3	過去問演習					
4	過去問演習					
5	過去問演習					
6	過去問演習					
7	過去問演習					
8	中間試験					
9	過去問演習					
10	過去問演習					
11	過去問演習					
12	過去問演習					
13	過去問演習					
14	過去問演習					
15	期末試験					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	50%			50%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
<b>【教員紹介】</b>						
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
情報処理教科書 情報処理安全確保支援士 2023年版、情報処理安全確保支援士試験過去問題						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2022年		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門基礎 必修	講義	高度国試対策Ⅱ	小泉 真理子	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
情報処理安全確保支援士の合格に必要な知識を身につける。						
<b>【講義概要】</b>						
情報処理安全確保支援士試験の資格対策を行う。応用情報技術者試験のセキュリティ分野の問題と、情報処理安全確保支援士の試験の問題を解く。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	過去問題演習					
2	過去問題演習					
3	過去問題演習					
4	過去問題演習					
5	過去問題演習					
6	過去問題演習					
7	過去問題演習					
8	中間試験					
9	過去問題演習					
10	過去問題演習					
11	過去問題演習					
12	過去問題演習					
13	過去問題演習					
14	過去問題演習					
15	期末試験					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	50%			50%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
<b>【教員紹介】</b>						
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
情報処理教科書 情報処理安全確保支援士 2023年版、情報処理安全確保支援士試験過去問題						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	応用英語	Tope Salami	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>						
1. Staying updated with General and Technology News from English News Sources. 2. Reading Manuals in English Overcoming the fear of reading English manuals.						
<b>【講義概要】</b>						
Classes will comprise: discussions about general and technology related news topics. creating projects that require reading technology manuals and homework to learn and reinforce technology vocabulary.						
回	授業計画及び学習の内容					
1	Introductions, English for IT, AI or Security Projects					
2	News Topic 1, Introduction to Software, Operating Systems, Project 1					
3	News Topic 2, Software Applications, IT Careers, Project 1					
4	News Topic 3, The Internet, People in IT, Project 1					
5	News Topic 4, Measurements, Programming Languages, Final Project 2					
6	News Topic 5, Computer Types, Components, Final Project 2					
7	Peripherals, Networking, Final Projects Presentation					
8	The Keyboard: Part 1 and Part 2, Project 3					
9	Memory. Storage and Input Devices, Project 3					
10	Removable Storage, IT Slang, Project 3 Presentation, Project 3					
11	English for Electronics, Computer Ethics, Project 4					
12	American IT companies, English for Programmers, Project 4					
13	Introduction to Cryptocurrency, QA (Quality Assurance), Project 4					
14	The Concise Guide to ITIL, Freelancing, Project 4					
15	Final Projects					
<b>【成績評価方法】</b>						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合		60%	40%		難問により平均点が低ければ出席率を加点 考慮対象とする	100%
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。</li> <li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> </ul>					
<b>【教員紹介】</b>						
IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計9年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。						
<b>【教科書・参考文献】</b>						
English for Information Technology						

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	表現技法	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

前半では日本語についての再確認をする。些細なことでもかまわないので、自分たちの言葉についての意識を持って欲しい。後半は、社会人として仕事していく上での基本、ビジネス文書について学ぶ。

## 【講義概要】

普段使っている日本語を見直す。また、ビジネスの現場での文書の意義、働き、流れ等を確認する。社会人としての基本を身につける。毎回、日本語の語彙に関する確認の小テストを行う。その他、適宜、講義内容に関連する新たな話題を紹介することもある。大きくシラバスから逸脱することはないが、内容が少し変わることもある。

回	授業計画及び学習の内容
1	表現とは何か
2	表現本能 表現行為 言語について
3	日本語について1 他言語との比較 日本語の特徴 語彙の面から①
4	日本語の特徴 語彙の面から② 表記の面から など
5	日本語の文体 音声言語と文字言語の相違
6	文章の構成 横書き原稿用紙の使い方
7	読点の付け方 中間試験対策
8	中間試験
9	ビジネス文書 概説 問題演習
10	ビジネス文書 社内文書① 問題演習
11	ビジネス文書 社内文書② 問題演習
12	ビジネス文書 社外文書① 問題演習
13	ビジネス文書 社外文書② 問題演習
14	ビジネス文書 まとめ 確認演習問題
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合 (補足)	80%	10%		10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配布する。

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ	氏原真代	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

就職試験（一般常識・時事問題など）対策として、基礎学力を身につけさせる事を目的とする。現実の状況を日頃から説明し、就職活動をする意欲を持たせる。

## 【講義概要】

一般常識の問題を扱うことで、問題に慣れ、的確に解答できるようにする。ニュース記事のまとめなどを行い、時事問題に対応できるようにする。

回	授業計画及び学習の内容
1	単位と単位系 接頭語・単位の変換
2	計算の基礎 式の展開と因数分解・その応用 / 時事問題①
3	論理回路① 論理式・論理回路の組み合わせ / 時事問題②
4	論理回路② 論理演算・カルノー図 / 時事問題③
5	文章題① 数の問題他 / 時事問題④
6	単位系・計算の基礎・論理回路・文章題のまとめ 演習問題
7	中間試験
8	計算問題① 演算・虫食い算 / 時事問題⑤
9	計算問題② 数列 / 時事問題⑥
10	判断と推理 命題・ブラックボックス / 時事問題⑦
11	図形① 平面図形の角度 / 時事問題⑧
12	図形② 図形の問題 / 時事問題⑨
13	文章題② 割合問題他 / 時事問題⑩
14	計算問題・判断と推理・図形・文章題のまとめ 演習問題
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	80%	10%		10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

授業時にプリント配布

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2023 年		3 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅲ	セキュリティ・ネットワーク科 担当教員	無	3 単位 60 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。  
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4 時間程度歩き、心身のバランスを図ります。  
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。  
 心身の健全な育成を目指しています。

## 【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1 日目、2 日目）
6	
7	
8	学園祭（1 日目）
9	
10	
11	学園祭（2 日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

（補足）  
 ・成績は 100 点を最高とし、60 点以上を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が 1/3 を超えた場合は、評価の対象としない。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】